

ぜひご覧下さい!!

令和4年度 決算の概況

令和4年度に町民の皆さんに納めていただいた税金や、国・県からの補助金・地方交付税などがどのくらい入り、どのように使われたかを示す一般会計等決算の概況を次のとおり公表します。

91億2,954万円の歳入(収入)に対して81億2,959万円の歳出(支出)があり、差し引き9億9,995万円は令和5年度に繰越しました。

令和5年3月末住民基本台帳人口 8,682人

●町の貯金と借金 (一般会計 令和4年度末)

貯金 35億 68万円

借金 63億1,563万円

町民1人当たりの貯金

約40万3千円

町民1人当たりの将来にわたる負担

約72万7千円

財源を調整する為の積立金残高・・・ 10億8,654万円
借金を返す為の積立金残高・・・・・・ 6億2,319万円
その他の積立金残高・・・・・・・・・・・・ 17億9,095万円

上記のうち、地方債(借金)の種類ごとに異なりますが、毎年返済する元金と利子の30%~100%が地方交付税(国から全国の市町村に配分されるお金)において措置されます。

●町民1人あたりの歳出決算額 (一般会計) 94万円/年

※町の歳出経費を令和5年3月末の人口8,682人で割って計算しています。

まちの財政(一般会計)を、年間収入300万円の家庭に置き換えてみると

| 支出 (267万円/年間) | | 収入 (300万円/年間) | |
|--------------------------|--------------------|---------------------------|--------------------|
| 1ヶ月当たりの収入支出は・・・ | | | |
| 支 出 | | 収 入 | |
| 生活費など (人件費・扶助費) | 60,775円 27.3% | 事業収入 (町税) | 22,750円 9.1% |
| 光熱水費、車の購入など (物件費) | 24,265円 10.9% | パート収入 (使用料など) | 8,250円 3.3% |
| 家や車の補修費 (維持補修費・災害復旧費) | 7,569円 3.4% | その他 (繰越金、諸収入) | 16,250円 6.5% |
| 町内会費・寄付金 (補助費等) | 36,732円 16.5% | 預金引出し (基金の繰入れ) | 8,500円 3.4% |
| 家の新築・改築など (普通建設事業費) | 30,721円 13.8% | 小 計 | 55,750円 22.3% |
| ローン返済 (公債費) | 17,587円 7.9% | 親などからの援助 (地方交付税・補助金など) | 161,500円 64.6% |
| 子どもへの仕送り (繰出金) | 22,262円 10.0% | 借入金 (町債) | 32,750円 13.1% |
| 預金(貯金) (積立金) | 22,707円 10.2% | 小 計 | 194,250円 77.7% |
| 支出合計 | 222,618円 100.0% | 収入合計 | 250,000円 100.0% |

※四捨五入処理しておりますので合計が合わない場合があります。

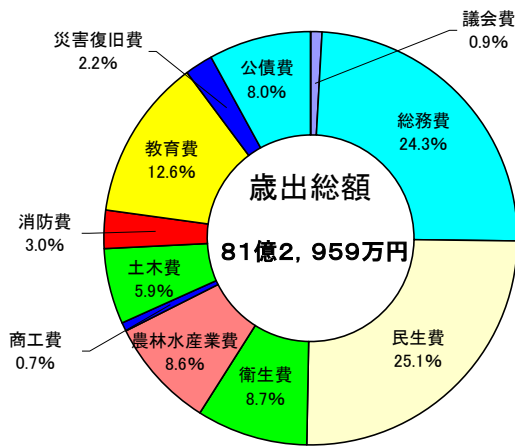
令和4年度 決算報告

●支出 81億2,959万円

決算額(一般会計)は、令和3年度と比較して2億3,889万円、2.9%の減となりました。

目的別に見てみますと、総務費で4億2,611万円、27.5%の増と大幅に増えておりますが、これは、基金積立金の増によるものです。また、公債費(借金返済)においても、4,466万円、7.4%の増となっております。

土木費では町営住宅口ノ坪団地建設事業の完了等により1億8,015万円、27.5%の減となっております。また、民生費においても新型コロナウイルス感染症対策に伴う、子育て世帯への臨時特別給付金等の各種臨時給付金などにより2億2,203万円、9.8%の減となっております。



一般会計の目的別歳出決算の状況

(単位:万円)

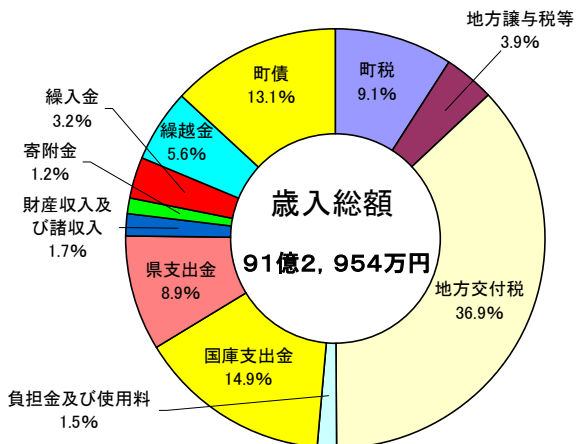
| 年度 款 | 令和3年度 | 令和4年度 | 前年度比 (%) |
|---------|---------|---------|-------------|
| | 決算額 | 決算額 | |
| 議会費 | 7,432 | 7,498 | 0.9 |
| 総務費 | 155,056 | 197,667 | 27.5 |
| 民生費 | 226,012 | 203,809 | △ 9.8 |
| 衛生費 | 72,477 | 70,580 | △ 2.6 |
| 労働費 | 0 | 0 | 0.0 |
| 農林水産業費 | 71,463 | 70,207 | △ 1.8 |
| 商工費 | 6,197 | 5,864 | △ 5.4 |
| 土木費 | 65,524 | 47,509 | △ 27.5 |
| 消防費 | 26,193 | 24,742 | △ 5.5 |
| 教育費 | 114,313 | 102,495 | △ 10.3 |
| 災害復旧費 | 32,055 | 17,996 | △ 43.9 |
| 公債費 | 60,126 | 64,592 | 7.4 |
| 予備費 | 0 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 836,848 | 812,959 | △ 2.9 |

●収入 91億2,954万円

決算額(一般会計)は、令和3年度と比較して2億4,697万円、2.8%の増となりました。

主な増額の要因としましては、中学校改築事業に伴う起債等により、町債5億1,761万円、76.7%増があげられます。また、基金の廃止等に伴う繰入金2億8,079万円、2,209.2%の増等があげられます。

収入総額の36.9%を地方交付税(国からの配分金)が占めており、町税におきましては市町村民税の個人分や、固定資産税の家屋分及び償却資産分等の増により、令和4年度については5.5%の増となりました。地方交付税等の依存財源に頼った財政運営となっておりますので、今後、地方交付税が減額されることになりますと更に厳しい財政運営を迫られる事になります。



一般会計の歳入決算の状況

(単位:万円)

| 年度 款 | 令和3年度 | 令和4年度 | 前年度比 (%) |
|-----------|---------|---------|-------------|
| | 決算額 | 決算額 | |
| 町税 | 78,530 | 82,819 | 5.5 |
| 地方譲与税等 | 35,675 | 35,836 | 0.5 |
| 地方交付税 | 339,118 | 337,338 | △ 0.5 |
| 負担金及び使用料 | 13,463 | 13,673 | 1.6 |
| 国庫支出金 | 187,275 | 136,266 | △ 27.2 |
| 県支出金 | 84,428 | 80,813 | △ 4.3 |
| 財産収入及び諸収入 | 22,506 | 15,488 | △ 31.2 |
| 寄附金 | 13,108 | 10,751 | △ 18.0 |
| 繰入金 | 1,271 | 29,350 | 2209.2 |
| 繰越金 | 45,433 | 51,409 | 13.2 |
| 町債 | 67,450 | 119,211 | 76.7 |
| 合計 | 888,257 | 912,954 | 2.8 |

特別会計の決算

| 国民健康保険特別会計(事業勘定) | | |
|------------------|------------|------------|
| | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 歳入 | 14億3,985万円 | 12億8,177万円 |
| 歳出 | 13億6,105万円 | 11億9,546万円 |
| 差引額 | 7,880万円 | 8,631万円 |
| 国民健康保険特別会計(直診勘定) | | |
| | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 歳入 | 834万円 | 747万円 |
| 歳出 | 833万円 | 746万円 |
| 差引額 | 1万円 | 1万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | | |
| | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 歳入 | 1億5,569万円 | 1億7,227万円 |
| 歳出 | 1億5,444万円 | 1億7,082万円 |
| 差引額 | 125万円 | 145万円 |
| 介護保険特別会計 | | |
| | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 歳入 | 16億6,558万円 | 16億7,616万円 |
| 歳出 | 15億3,140万円 | 15億1,531万円 |
| 差引額 | 1億3,418万円 | 1億6,085万円 |
| 久米財産区特別会計 | | |
| | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 歳入 | 1,659万円 | 915万円 |
| 歳出 | 1,401万円 | 815万円 |
| 差引額 | 258万円 | 100万円 |
| 下水道事業特別会計 | | |
| | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 歳入 | 3億1,462万円 | 3億2,607万円 |
| 歳出 | 2億9,096万円 | 3億68万円 |
| 差引額 | 2,366万円 | 2,539万円 |
| 上水道事業特別会計 | | |
| | 令和3年度 | 令和4年度 |
| 収益的収支 | | |
| 収入 | 1億8,233万円 | 1億7,663万円 |
| 支出 | 1億5,114万円 | 1億4,355万円 |
| 差引額 | 3,119万円 | 3,308万円 |
| 資本的収支 | | |
| 収入 | 284万円 | 105万円 |
| 支出 | 8,738万円 | 9,045万円 |
| 差引額 | △8,454万円 | △8,940万円 |

※資本的収支の不足額については、当年度損益勘定留保資金、減債積立金処分額で補填しています。

令和4年度の主な事業費

| | |
|------------------------|-----------|
| 総務費 | |
| 各種基金積立 | 8億3,191万円 |
| ふるさと納税推進事業 | 7,301万円 |
| 多良木町生活応援臨時給付金給付事業 | 6,243万円 |
| 民生費 | |
| 教育・保育給付費事業 | 4億3,698万円 |
| 介護・訓練等給付事業 | 3億6,973万円 |
| 介護保険特別会計繰出金 | 2億3,618万円 |
| 後期高齢者医療費 | 2億172万円 |
| 衛生費 | |
| 球磨郡公立多良木病院負担金 | 3億36万円 |
| 人吉球磨広域行政組合負担金(ごみ処理施設等) | 1億2,759万円 |
| 新型コロナウイルスワクチン接種事業 | 5,150万円 |
| 子ども医療費扶助事業 | 3,479万円 |
| 農林水産業費 | |
| 中山間地域等直接支払制度交付金 | 1億340万円 |
| 多面的機能支払交付金 | 9,198万円 |
| 地籍調査事業 | 6,765万円 |
| 水利施設等保全高度化事業 第二多良木地区 | 3,446万円 |
| 家畜・酪農飼料高騰特別対策事業 | 2,660万円 |
| 商工費 | |
| 交流館石倉換気空調システム改修事業 | 2,189万円 |
| 都市農山村交流施設(ブルートレイン)管理費 | 1,749万円 |
| 土木費 | |
| 下水道事業特別会計繰出金 | 1億6,316万円 |
| 社会資本整備総合交付金道路事業 | 1億6,075万円 |
| 道整備交付金事業 | 4,315万円 |
| 消防費 | |
| 上球磨消防組合負担金 | 1億7,365万円 |
| 消防団員報酬 | 1,733万円 |
| 防災トイレ等整備事業 | 1,525万円 |
| 球磨川水系防災・減災事業 | 1,523万円 |
| 教育費 | |
| 中学校校舎改築事業 | 6億1,677万円 |
| 特別支援教育支援員配置事業 | 4,830万円 |
| 学校給食費補助事業 | 1,377万円 |
| 外国語指導助手派遣事業 | 1,016万円 |
| 災害復旧費 | |
| 林業用施設災害復旧事業 | 1億3,863万円 |
| くま川鉄道災害復旧事業 | 3,944万円 |
| 農業用施設災害復旧事業 | 2,913万円 |
| 公債費 | |
| 起債(借入金)の償還 | 6億4,592万円 |

財政健全化判断比率の公表について

自治体の財政を適正に運営することを目的として、国では平成19年に財政健全化法を定めました。

この法律は、新たな財政指標により、早期健全化と財政再生の2段階で自治体の財政悪化をチェックするとともに、特別会計や公営企業会計も合わせた連結決算により、自治体の財政状況を明らかにしようとするものです。

この財政指標では、早期健全化基準(黄信号)と財政再生基準(赤信号)が定められ、さらに上・下水道などの公営企業会計についても個別に経営健全化基準(黄信号)が定められています。

平成20年度の決算からは、この指標のいずれかが基準を上回った自治体には、財政の健全化に向けた計画の策定など、さまざまな制約が課せられます。

令和4年度の決算に基づく算定の結果、多良木町では、いずれの指標も早期健全化基準を下回る数値となっています。

| | 多良木町 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|------|---------|--------|
| 実質赤字比率 | — | 15% | 20% |
| 連結実質赤字比率 | — | 20% | 30% |
| 実質公債費比率 | 8.5% | 25% | 35% |
| 将来負担比率 | — | 350% | — |